



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2018年10月30日号



特別展示解説書「身近な昆虫 365」販売中！

みんなが知っている虫から、あまり知られていない虫まで、いろいろな昆虫を紹介しています。

この本といっしょに毎日ひとつずつ、身近な昆虫を探したり名前を覚えたりしてみましよう！

お求めは博物館受付まで 500円（税込）

◆学芸員自然と歴史のたより◆

「イカした色ですが、なにか？」

突然ですが、漁師さんはカラフルな色使いをするのでしょうか？

漁に出るときにオシャレな格好をする漁師さんはいないと思いますが、道具の色使いに神経を使う時があったようです。

今日ご紹介するのは、イカ釣りに使ったイカヅノです。

現在使われている（市販されている）イカヅノは、ピンクや黄緑色のプラスチック製のものが多いようですが、三浦半島で30年くらい前まで使われていたイカヅノは芯となる部分が鉛や竹で出来ています。

そして、その鉛や竹の部分にカラフルなガス糸を巻きつけ、10個程度のイカヅノを一本の糸で約5尺間隔につなぎます。

その色使いが漁師さんの腕の見せ所で、一個ずつ色を変えたり、一個のイカヅノに2、3色の糸をしま模様に巻きつけたりします。

実は、カラフルな色使いをしているイカヅノは、他の地域ではあまり見られません。

イカヅノ自体の形状がもっと太かったり、糸が巻いてあっても単色の木綿糸だったりする地域が多かったようです。

カラフルなイカヅノが三浦半島の特徴といえますが、糸を巻きつける道具（ツノマキ）も他の地域ではあまり見られないものです。

昭和年代以前は、手で糸を巻くか木製の歯車を使用したツノマキでイカツノを回転させ糸を巻きつけていましたが、だんだんと置時計の部品である歯車を利用したツノマキが普及していったようです。

以上のことからわかるのは、自分なりの工夫によって細かい色使いを決めていたこととツノマキが必要なほどイカツノに糸を巻く作業が多かったことです。

三浦半島のイカツノが、他地域で同時期に見られるイカツノよりも細身であるのは、巻き上げ機を使わず手釣りだったことも理由として考えられます。

イカツノの束をヒトカラと呼びますが、それを手で引き揚げていました。

手早く作業をするために、片手にほぼすべてのイカツノを収めながら次から次へと引き上げます。

細身でないと手に収まらないのです。

その様子を陸上で再現した映像やツノマキで糸を巻いている映像、イカツノの実物は天神島ビクターセンター2階の展示室で見ることができます。

また、来年春には本館でもそれらの映像やイカツノのカラー写真を館内設置のパソコンで見られるようになります。

(民俗学担当：瀬川)

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/26242>

◆展示情報◆

特別展示「探検！スズメバチと身近な昆虫の世界」

2018年11月4日（日）まで

私たちの暮らす三浦半島には数多くの多様な昆虫たちが生息しています。

コレだけは押さえておきたい基本の昆虫たちを標本や写真で紹介します。

なかでも危険な生物としてその姿や暮らしをじっくり観察することができないスズメバチについて、展示や模型を通じて分かりやすく学べます。

【おもなみどころ】

☆迫力！オオスズメバチの頭部模型

直径約1mのオオスズメバチの頭部模型を通じて、生体での観察が難しいスズメバチ類の頭部の形が立体的に把握できる展示

☆体感！オオスズメバチの育房

「育房（いくぼう）」とはスズメバチ類の巣の中で幼虫が育つ個室。来館者が「もしもスズメバチの幼虫だったら」を体験できる大型の「育房」を再現

☆全部知ってる！？身近な昆虫 500 種

標本による実物展示

☆スズメバチ類の巣などさわって体験できる展示

さわれる展示コーナーを設置

【関連行事】

☆展示解説

10月28日（日）

いずれも 14：00～15：00

本館特別展示室 参加自由

展示の内容をわかりやすく解説します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/25315>

トピックス展示「『夜明け前』の横須賀 青山半蔵ゆかりの人と幕末・明治」

2018年12月23日（日）まで

明治維新 150 年を単なる政治史上から見るのではなく、横須賀という地域の風土を、島崎藤村著『夜明け前』を語り部としつつ、その前史から近代までを、関係深い「永嶋家旧蔵文書」を駆使し読み解く。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26059>

トピックス展示「基礎から学ぼう昆虫学成果展」

2018年11月25日（日）まで

博物館教室『基礎から学ぼう昆虫学』（今年度5月～8月に実施）の参加者による観察や研

究を展示します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26184>

◆イベント情報 ◆

博物館特別公開「国指定重要有形民俗文化財 三浦半島の漁撈用具」

2018年11月1日（木）～2018年11月4日（日）

館内には収まりきれないほどの大形の木造船、竹で編んだ巨大な生け簀、タコ・イカ・マグロなど様々な種類の釣り針など、2603点を期間限定で公開します。

11月4日（日）13:30～14:30に解説を行います。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25329>

研究発表会「よこすかの歴史最前線」

2018年11月3日（土）

三浦半島を中心とした様々な研究発表の「機会」として、また市民の地域の新しい研究成果を学習する「場」として、『よこすかの歴史最前線』（歴史・考古・民俗）を開催します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25332>

自然館ミュージアムトーク（11月）

2018年11月3日（土）

申込不要。博物館の学芸員が自然館の展示を解説します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25344>

野外学習「三浦半島の遺跡めぐり 1」

2018年12月7日（金）

事前申込制。三浦半島の歴史を形成してきた主要な遺跡群を現地で見学し、各遺跡の有する特徴や時代背景などを解説します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25373>

自然観察会「身近な植物のクリスマスかざり」

2018年12月8日（土）

事前申込制。身近な植物の名前や特徴を楽しく学びながら室内でクリスマスかざりを作ります。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25375>

天神島ガイドツアー（11月）

2018年11月25日（日）

申込不要。天神島臨海自然教育園内の動植物や景観などの見どころを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25399>

発行：横須賀市自然・人文博物館

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>